

## 新人教育・研修の進め方～多様な人材への対応ポイント～

**日 程** 令和3年2月24日(水) (10:00～16:00)

**対象者** 介護福祉関係者 推奨職員:(上級・管理職・リーダー職)  
及び興味のある方

**料 金** 会員(法人・個人)8,000円 ・ 一般10,000円

**会 場** 振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階)  
みなとみらい線「日本大通り」駅 徒歩5分

今後ますます高度化、複雑化する介護ニーズや多様化する介護人材に対応していく中、現場の職員には専門性の向上を図るだけでなく、新人職員等を指導・育成する役割も求められる中、既存職員から「教え方が分からない」といった悩みもあるようです。

**本セミナーでは、現に指導的立場、または今後指導的立場になる職員を対象に、新人指導の内容や上手に指導するコツや伝え方のポイントを学びます。**

### 【 講 師 】

東京福祉専門学校  
副学校長 白井孝子

看護師として働くなかで患者の退院後の生活支援の大切さを痛感。福祉分野を学び、訪問看護師の仕事を経て、東京福祉専門学校の教職に就く。利用者を中心とした介護と医療の連携を痛感しており、21年に及ぶ豊富な介護福祉士教育の経験からしみ出る福祉の本質に迫る話が多く、多くの学生たちの心を捉えている。介護福祉士国家試験委員・介護福祉士養成課程における教育内容等見直しに関する作業チーム特別委員等も務める。著書に「介護に使えるワンポイント医学知識」(中央法規出版)、「新・介護福祉士養成講座」(中央法規出版・編著)、「介護福祉士養成テキスト」(建帛社・編著)など。



### 《カリキュラム》

学ぶのに適したタイミング  
そのタイミングに合わせた指導育成  
職員の学びが続き、職員定着に!

研修プログラムを確認しましょう

指導・育成することは、

なぜ必要なのか

- ・多様化する介護人材の現状
- ・外国人介護職員の受け入れ

わかりやすい指導方法とは

どのようなものか

- ・双方向の学びから主体的学びに変化
- ・目的・目標の設定から具体的方法

学びをどのように評価し

次につなげるのか

- ・評価の方法 評価の時期 次の目標設定

※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。

法人名	
事業所名	
会員種別	( ) 会員 ( ) 個人会員 ( ) 一般
個人会員番号	

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行  
FAX:045-671-0295  
TEL:045-210-0788  
〒231-0023横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒 ————— ( 自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所 )
	〈mail〉 @
	〈電 話〉 ————— 〈ファックス〉 —————
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係( ) ⑩ その他のサービス( )

### <参加者名簿>

お申込合計人数 ( 名 )

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他( )	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他( )	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他( )	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
連絡事項					